

## 第2回産官学連携会議に出展

原研(高崎研究所)は、平成15年6月7,8日に国立京都国際会館で開催された第2回産官学連携会議(主催:内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、経団連、日本学術会議)において、1,700にも耐える炭化ケイ素繊維、高温フィルターなどに応用できるSiCマイクロチューブ、湿潤環境を保持し傷口の治癒を促進するハイドロゲル創傷被覆材、生分解性ハイドロゲルによる床ずれ防止マットの出展と技術移転の現状を集約した技術移転ガイドなどを配布した。出展コーナーには、細田博之科学技術政策担当相がお見えになり、高崎研の技術について熱心に質問していかれた(写真2)。この会議には約4,000人が参加し官学に生まれた技術をいかに産業界に生かして技術立国日本再生と経済発展に繋げるか熱い議論が行われた。



写真1:高崎研のパネル、製品の展示



写真2:細田博之科学技術政策担当相への説明

## オープンセミナー/技術相談会の開催

6月18日の高崎研オープンセミナー(第7回)の「放射線による医療品の開発」では、多用途が期待できる放射線法ハイドロゲル(高崎研)、電子線を利用したハイドロゲル創傷被覆材(ニチバン株)、天然由来の放射線法ハイドロゲルの応用-床ずれ防止マット製品化-(TNK東日本株)の3件の発表が行われた。高崎研技術を基に民間企業二社がハイドロゲルを医療福祉に応用し、製品化に成功した。TNK東日本株については、群馬県沼田市の企業であり高崎研技術が地元産業の活性化に繋がることを期待している。セミナー終了後にハイドロゲルに関連した技術相談が数件寄せられた。



炭化ケイ素繊維  
Hi-Nicalon<sup>®</sup>

耐熱性  
1,700



スペースプレーン



セラミックタービン

高崎研究所 技術移転促進チーム

窓口 笠井昇

〒370-1292 高崎市綿貫町1233

TEL:027-346-9812 FAX:027-346-9381

<http://www.taka.jaeri.go.jp>